

歯科用インプラントが埋入された 経口挿管患者に生じた 口唇潰瘍のケアについて

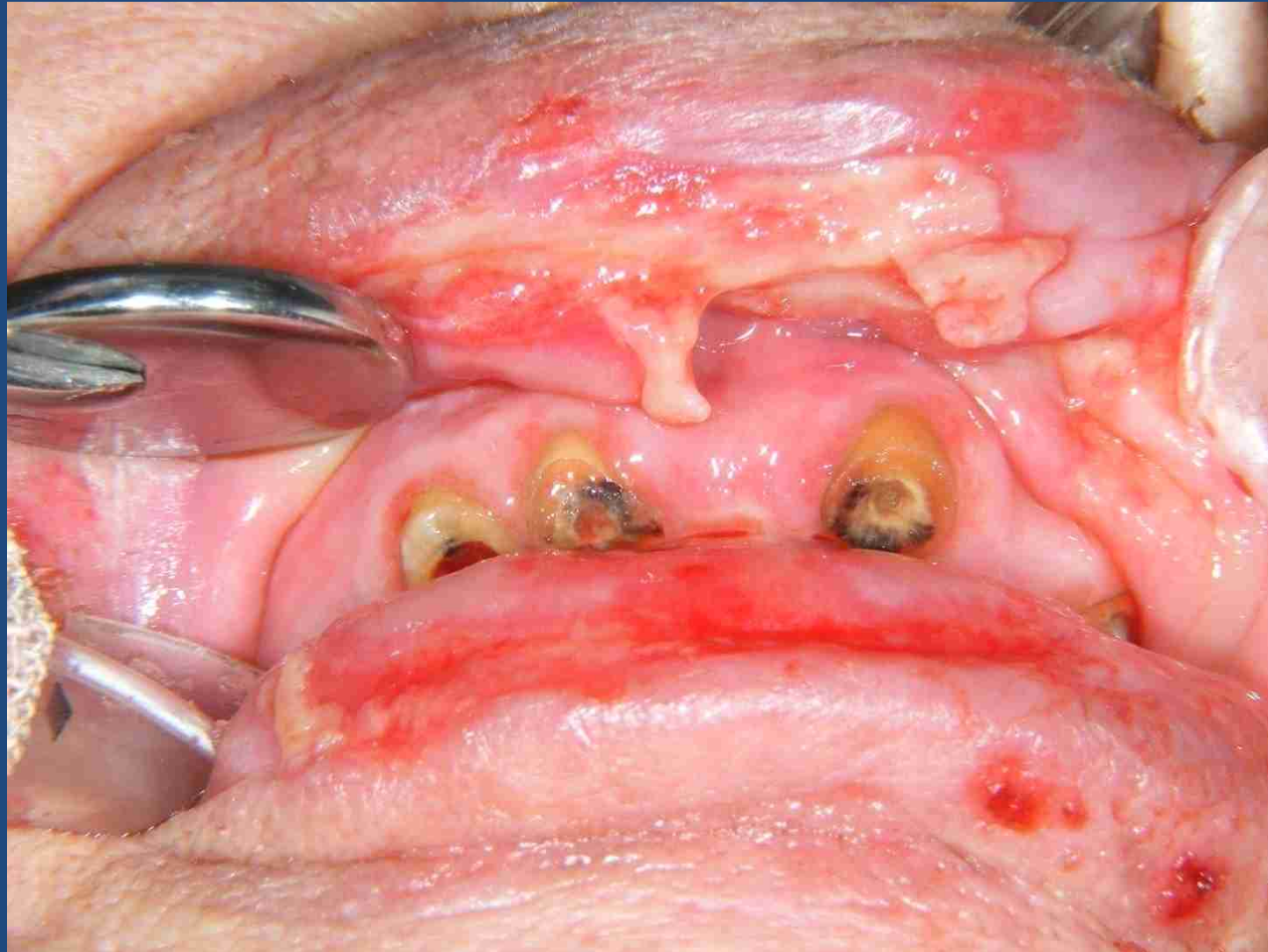
医療法人社団 全仁会 高木病院

看護部(歯科衛生士)¹⁾, 内科²⁾, 口腔外科³⁾
○小野恵美子¹⁾, 金丸真奈美¹⁾, 日永道子¹⁾
齋藤義人²⁾, 鈴木 円³⁾

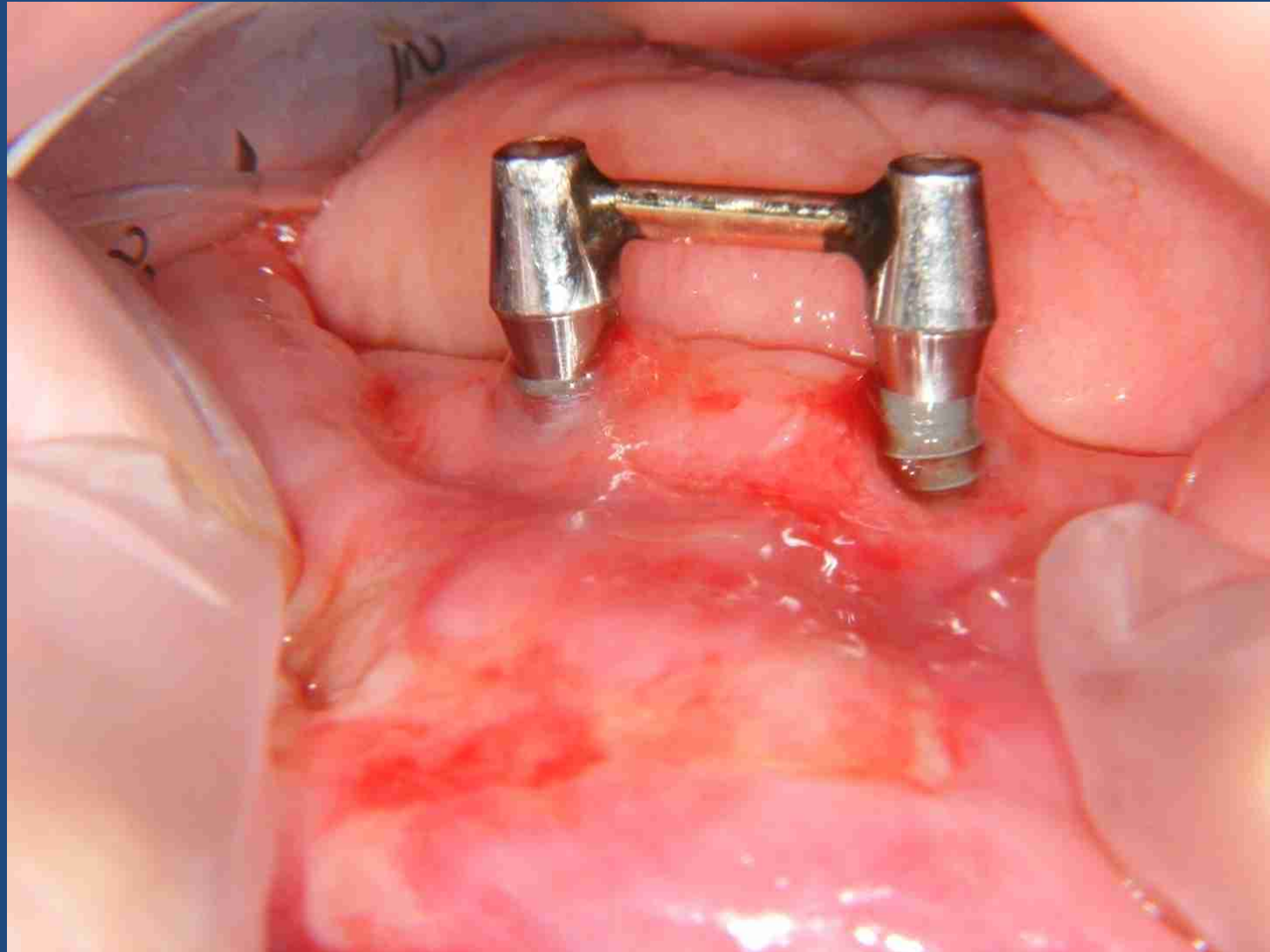
症例

- 患者：80歳，女性
- うっ血性心不全のため内科入院中
肺炎を併発し，呼吸状態が悪化したため
経口気管内挿管となった
- 依頼内容：口唇潰瘍

初診時口腔内写真(上唇)



初診時口腔内写真(下唇)



口唇潰瘍のケア

- バイトブロックを外して、
気管内チューブのみの固定
- アズノールうがい液で清拭後、ガーゼで水分を
拭き取りステロイド剤含有軟膏を塗布
- 気管内チューブの固定位置の移動

經過



初診時



約2週間後

経口挿管患者の問題点

- 人工呼吸器関連肺炎（VAP）

人工呼吸器を装着したことにより48時間以降新たに発症した肺炎

- 主な原因

誤嚥による口腔内細菌の気管内への流入

経口挿管患者の口腔内の特徴

- 経口摂取が制限されていて唾液の分泌が少ない
- バイトブロックや気管内チューブがあるため開口状態になり、口呼吸になりやすい



口腔内が乾燥し、自浄作用が低下



口腔ケアが重要

経口挿管患者の口腔ケアのポイント

- 視野の確保

 - 口角鉤, デンライト照明ミラーを使用

- バイトブロック, 気管内チューブの清掃

 - バイオフィルムを歯ブラシで機械的除去

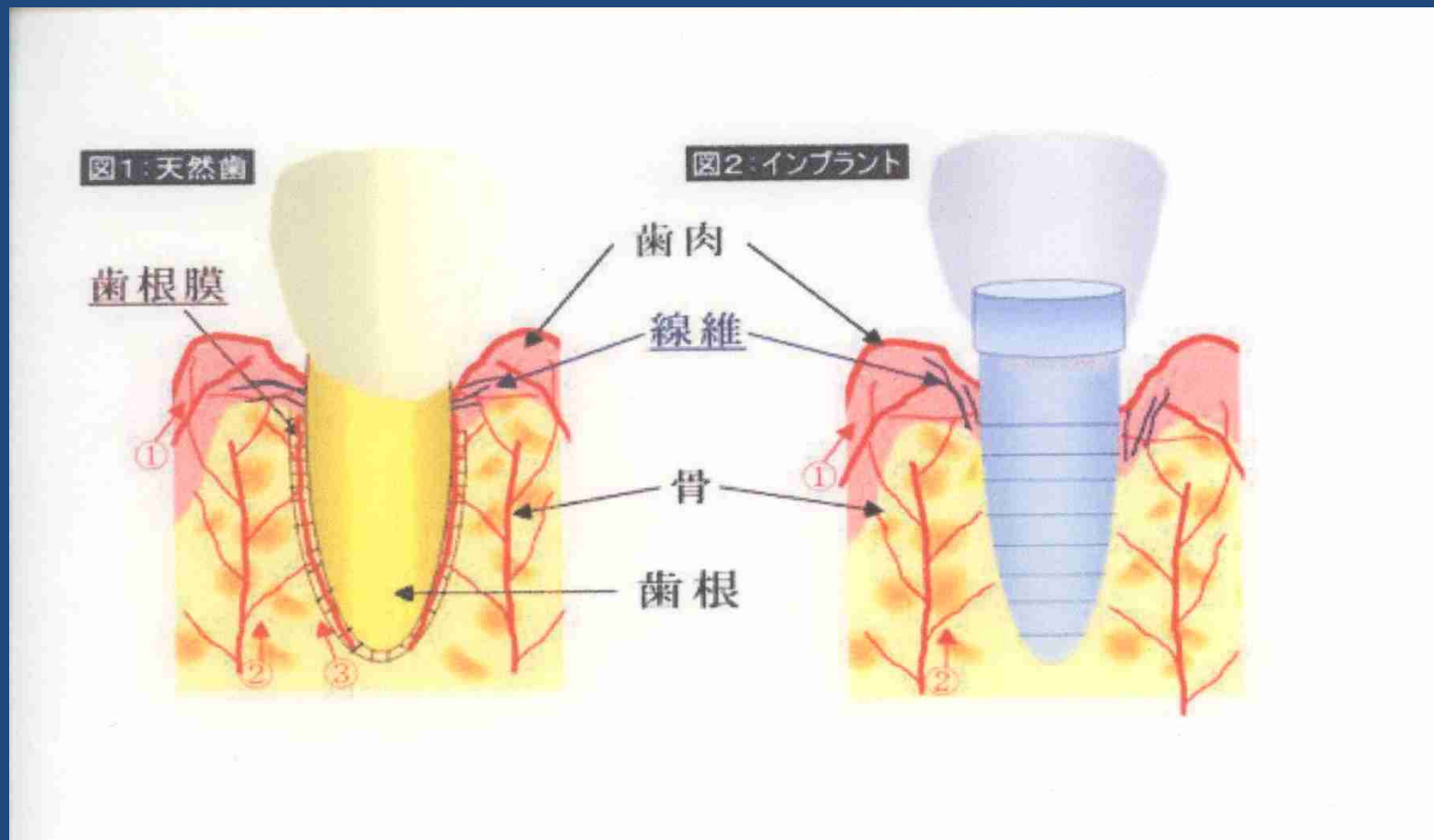
- バイトブロック, 気管内チューブの移動

 - 毎回のケア後, 固定位置を移動

 - (歯がない患者など気管内チューブを咬む恐れのない患者にはバイトブロックを使わない)

歯科用インプラントとは

欠損した歯の機能を代用させる目的
で
顎骨内に埋め込む人工的な物質



歯科用インプラントのケアに用いる清掃具



本症例を契機として...

経口気管挿管中患者の口腔ケアマニュアル

1. 必要物品の準備

基本セット

- ・吸引・スポンジブラシ・歯ブラシ（歯がある人のみ）・コップ・ミラー（可能ならばライト付）・洗口液（アズノールうがい液4%を100mlに5~8滴入れ希釈したもの）

状況に応じて用意するもの

- ・ 保湿ジェル：口腔乾燥がみられる場合や厚くなった舌苔を軟化させるために塗布する。
- ・ 補助清掃用具：歯頸部や歯ブラシが挿入できない部分を清掃する場合に歯間ブラシ、部分磨き用ブラシを用いる。
- ・ 口角鉤：視野の確保が困難な場合に用いる。

2. 体位の調整

- ・ 口腔ケアを行いやすい高さにベッドを調整する。
- ◆ 仰臥位の場合は、頸部を前屈させるか首を横に向けて気管伸展位を避ける。
- ◆ 介助者の視野の確保がやや難しいが、誤嚥防止のために側臥位にすることもある。

3. 視野の確保

- ・ 視野の確保が困難な場合は、挿管チューブが固定されていない側に口角鉤を使用する。
- ・ 特に視野の確保に問題がない場合は、歯科用ミラーや術者の人差し指と中指で口唇や頬粘膜を圧排しながら口腔内を観察する。

4. 口腔内観察

- ・ ミラーを用いて口唇、歯、歯肉、舌、口蓋、頬粘膜の状態、汚染度を観察する。
- ◆ 挿管チューブを固定して、観察出来ないところはチューブを移動した際に観察するようにする。

5. 口腔内を湿潤

- ① はじめにスポンジブラシで口腔内全体を洗口液で湿潤させ、大きな汚れを除去する。
 - ◆ ケア中は誤嚥させないように注意し、必ず吸引をしながら行う。
- ② スポンジブラシで口腔内全体を拭う。
 - ◆ スポンジブラシを使用する場合は、洗口液に浸したスポンジブラシをしばらく口腔内全体を拭う。スポンジブラシが汚れたらよくすすいでから洗浄する。
- ③ 舌苔の付着や口蓋などに剥離上皮などがカビカビに付着している場合は、適量（小豆大から1円玉くらい）の保湿ジェルを指やスポンジブラシであらかじめ塗布しておくとお口部位のケア中に浮上し剥離しやすくなる。

● 経口挿管患者に対するケアの手技を統一するため、看護師用のケアマニュアルを作成

● 口腔内に歯科用インプラントが埋入されている場合には看護師ではケアしきれないため、専門知識をもった歯科医師や歯科衛生士による介入が必要